



[こんなときは悩まず連絡・相談を]

児童虐待が疑われるときは

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン期間」です。「昼夜を問わず、大人の怒鳴り声や子どもの泣き叫ぶ声が聞こえる」「たたかれたあざや不自然なけががある」「夜、一人外に出されている」などの虐待が疑われる状況を見つけたときは、連絡ください。



▶ 児童虐待の通報・相談窓口

通報者の個人情報を守られます。

中央子ども家庭支援センター ☎537-5688

月～金曜日 午前8時30分～午後6時*

東部子ども家庭支援センター ☎527-2140

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分*

西部子ども家庭支援センター ☎541-1440

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分*

県中央児童相談所(城崎分室) ☎579-6650

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分*

◎警察署 ※緊急時は110番へ

大分中央警察署 ☎533-2131

大分東警察署 ☎527-2131

大分南警察署 ☎542-2131

児童相談所 通話料 無料 **189**

※近くの児童相談所につながります。



女性に対する暴力などの相談

11月12日(日)～25日(土)は「女性に対する暴力をなくす運動期間」です。配偶者やパートナーからの暴力、セクハラ、ストーカー行為などお悩みのときは、ぜひ相談ください。

▶ 配偶者やパートナーからの暴力

市配偶者暴力相談支援センター

(中央子ども家庭支援センター内) ☎537-5666

月～金曜日 午前8時30分～午後6時*

県配偶者暴力相談支援センター

● 婦人相談所 ☎544-3900

月～金曜日 午前9時～午後9時

土・日曜日、祝日 午後1時～5時、午後6時～9時

※来所相談(要予約)月～金曜日 午前9時～午後5時*

● **アイネス ☎534-8874** (短縮(#8008))

月～金曜日 午前9時～午後4時30分*

▶ 配偶者やパートナーからの暴力、

ストーカー被害など

警察安全相談(県警察本部) ※休日・夜間は当直対応

月～金曜日 午前9時～午後5時45分

(総合相談) ☎534-9110 (短縮(#9110))

(性犯罪被害相談) ☎0120-81-0355 (短縮(#8103))

大分中央警察署 ☎533-2131

大分東警察署 ☎527-2131

大分南警察署 ☎542-2131

▶ 女性の人権問題

女性の人権ホットライン

(大分地方方法務局内) ☎0570-070-810

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分*

★ 祝日、年末年始を除く

▶ 職場でのセクハラや性別による差別的取り扱い

大分労働局雇用環境・均等室 ☎532-4025

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分*

▶ スクール・セクハラ

学校教育課 ☎537-5648

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分*

県人権教育・部落差別解消推進課 ☎534-4366

☑no-sekuhara@pref.oita.lg.jp

月～金曜日 午前9時～午後5時*

▶ 性暴力

おおいた性暴力救援センター・すみれ

☎532-0330 (短縮(#8891))

24時間365日

メール相談

メール相談はこちら▶

すみれのホームページはこちら▶



▶ 妊娠(望まない妊娠も含む)、性感染症・婦人科疾患、DVなどの性的暴力や母子家庭の経済的悩み

おおいた妊娠ヘルプセンター ☎529-7874

フリーダイヤル ☎0120-241-783

☑ninsin-783@sage.ocn.ne.jp

※来所相談…産婦人科医師による相談(要予約)、

専任助産師による相談(随時)

水～日曜日 午前11時30分～午後7時

(年末年始を除く)

おおいた妊娠ヘルプセンターのホームページはこちら▶



12月4日～10日は「人権週間」

市では、大分市人権教育・啓発基本計画に基づき、部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、年間を通してさまざまな活動を行っています。

今回は、12月4日から10日の「人権週間」の取り組みの一環として、「おおいた人権フェスティバル2023」を開催します。講演会は無料で、全会場手話通訳があります。この機会に、人権について考えてみませんか。

〈地区会場〉

☎ 社会教育課 ☎537-5722

講演

演題 「ニュースが伝えない差別の裏側」

講師 数本 雅子さん

日時 11月24日(金) 午後2時～3時30分

(午後1時30分開場)

場所 旭町文化センター 大会議室

定員 70人(当日先着順)

講師プロフィール

フリーアナウンサー・記者。日本テレビアナウンサーとして数々のバラエティ番組に出演。日本テレビ退社後は、ハンセン病をテーマに『女子アナ失格』を出版し、上智大学大学院でメディアと人権を研究し修士号を取得。現在は人権問題を中心に取材、執筆を行っている。令和元年度人権擁護功労賞(法務大臣賞)受賞。



公演

演題 「生きてさえいれば、いつか笑える日が来る」

講師 生笑 一座さん

日時 12月9日(土) 午後1時30分～3時5分

(午後1時開場)

場所 鶴崎公民館 集会室

定員 250人(当日先着順)

講師プロフィール

2013年から活動開始。NPO法人抱樸の理事長の奥田知志や副理事長の谷本仰が、野宿経験のあるメンバーと「人生」について語りながら、ワークショップや歌などを披露する一座。全国公演も行っており、100公演以上、視聴者は3万人を超える。死線を超えてきた『当事者』が語る生笑一座の言葉だからこそそのリアルさを伝える。



講演&パフォーマンス

演題 「アイヌ文化の現在」

講師 宇佐 照代さん

日時 12月7日(木) 午後2時～3時40分

(午後1時30分開場)

場所 南大分公民館 集会室

定員 200人(当日先着順)

その他 アイヌルトムテによるアイヌ民族の歌と踊りのパフォーマンスも実施。

講師プロフィール

北海道釧路市生まれ。アイヌ伝統舞踊や木彫り、トンコリ(弦楽器)などに組み入り、関東を中心に活動するアイヌパフォーマンスグループ「アイヌルトムテ」の代表として活動中。また、アイヌ文化が消えてしまう危機感から、小・中・高校生向けの人権問題体験学習会などの講師も務めている。



宇佐 照代さん(写真右)

〈人権講演会〉

☎ 人権・同和对策課 ☎537-5618

演題 「『ちがひ』を持つ人々との素敵な日々に向けて」

講師 ロバート キャンベルさん

日時 12月9日(土) 午後2時～3時30分

場所 野津原公民館 集会室

定員 300人(当日先着順)

※無料託児あり(希望者は要事前連絡)

講師プロフィール

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。

